

日立市コミュニティ活動推進行動計画

別冊 推進状況の評価（令和6年度）

推進事項（35項目）の進め方	……	1 ページ
推進事項の評価（総括表）	……	2 ページ
推進状況の評価シート	……	6 ページ

推進事項（35 項目）の進め方（令和6 年度）

進め方	推進事項
コミュニティが主体的に進める事項 (14項目) コミュニティ	1 コミュニティ持続のための新たな人材の発掘【重点】
	3 コミュニティで取り組んでいる活動の再点検【重点】
	4 コミュニティ憲章の策定 コミュニティのよりどころの策定 【重点】
	5 コミュニティプランの改訂【重点】
	6 コミュニティマップの改訂【重点】
	7 脱炭素社会に向けた全世代型コミュニティ環境活動の充実【重点】
	9 コミュニティ活動参加者のスキルアップ等支援
	10 会計処理方法等の統一及び財政強化策の検討
	12 NPO・ボランティア団体等との連携の強化
	13 コミュニティ活動等に関する広報の充実
	14 コミュニティ活動事例集の作成
	16 コミュニティが行う地域福祉活動の推進【重点】
	25 地域公共交通の充実 地域住民の移動手段の確保
	30 ICTを活用した高齢者のつながりの創出【重点】
市が主体的に進める事項(18項目) 市	2 子どもたちのコミュニティを学ぶ環境の整備【重点】
	8 コミュニティ活動アプリポイント制の導入【重点】
	11 地域とともにある学校づくりの推進(コミュニティスクールの推進)
	17 個別避難計画による避難行動要支援者支援の強化【重点】
	19 市職員の積極的な地域活動への参画
	20 ボランティア募集アプリの構築
	21 市報の新たな配布方式の定着
	22 ごみ等収集システムの見直し
	23 防犯灯の市への移管及び新たな管理体制づくり 防犯灯の維持管理における協力体制の推進
	24 不法投棄防止策の推進
	26 街区公園等の維持管理
	28 自主防災組織活動の活性化
	29 フリースペースや学習室の設置【重点】
	31 デジタル化の推進【重点】
	32 大学生との関係づくり支援
	33 コミュニティへの若者参画促進
	34 子育て世代の相談機会の充実
	35 交流センター施設予約方法の変更
市とコミュニティが協働で検討する事項(3項目) 市・コミュニティ	15 地域のつながり向上の取組【重点】
	18 (仮称)まちづくりコーディネーターの配置とソーシャルデザインセンター設置の検討【重点】
	27 有償ボランティアの検討

行動計画推進事項 推進状況の評価(総括表)

取組の 視点	推進事項	進め方	担当課	評価				
				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
組織・活動の 活性化・ 透明化	1 【重点】 コミュニティ持続のための 新たな人材の発掘	コミュニティ	コミュニティ推進課	A	A	A		
	2 【重点】 子どもたちのコミュニティを 学ぶ環境の整備	市	コミュニティ推進課	A	A	A		
	3 【重点】 コミュニティで取り組んで いる活動の再点検	コミュニティ	コミュニティ推進課	A	A	A		
	4 【重点】 コミュニティのよりどころの 策定	コミュニティ	コミュニティ推進課	A	A	A		
	5 【重点】 コミュニティプランの改訂	コミュニティ	コミュニティ推進課	A	A	A		
	6 【重点】 コミュニティマップの改訂	コミュニティ	コミュニティ推進課、 郷土博物館	B	B	B		
	7 【重点】 脱炭素社会に向けた全世代型 コミュニティ環境活動の充実	コミュニティ	コミュニティ推進課	S	A	A		
	8 【重点】 コミュニティ活動アプリ ポイント制の導入	市	コミュニティ推進課、 デジタル推進課、 生涯学習課	A	A	S		
	9 コミュニティ活動参加者のスキル アップ等支援	コミュニティ	コミュニティ推進課、 人事課	A	S	A		
	10 会計処理方法等の統一及び財政強化策 の検討	コミュニティ	コミュニティ推進課	A	A	A		
	11 地域とともにある学校づくりの推進 (コミュニティスクールの推進)	市	指導課、 生涯学習課、 学校再編課	A	A	A		
	12 NPO・ボランティア団体等との連携 の強化	コミュニティ	コミュニティ推進課	A	A	A		
	13 コミュニティ活動等に関する広報の 充実	コミュニティ	コミュニティ推進課、 広報戦略課、 デジタル推進課	A	A	A		
	14 コミュニティ活動事例集の作成	コミュニティ	コミュニティ推進課	A	A	A		

行動計画推進事項 推進状況の評価(総括表)

推進状況				
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
役員任期ガイドライン作成	会則の改正、情報共有			
	子どもの記事の掲載、親子での参加促進など			
必要な活動の見える化	連絡体制フローの作成	防災意識向上などの研究		
よりどころの作成	よりどころの全戸配布	よりどころのPR		
	改訂			
予算要求	事業見直し			
	交付金活用、ごみゼロ・くさゼロなど			
導入検討	導入準備	導入、運用		
	出前講座・研修会、デジタル支援など			
会計処理ハンドブック作成	研修会の開催	会計事務に関する情報提供		
	学校運営協議会など			
	連携方法の検討・実践			
活動ハンドブック改訂	交流センターパンフレット	ハンドブック等の広報		
活動ハンドブック改訂	SNS等での発信			

行動計画推進事項 推進状況の評価(総括表)

取組の視点	推進事項	進め方	担当課	評価				
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
協働体制の強化	15 【重点】 地域のつながり向上の取組	市・コミュニティ	コミュニティ推進課	A	A	A		
	16 【重点】 コミュニティが行う地域福祉活動の推進	コミュニティ	福祉総務課	A	A	A		
	17 【重点】 個別避難計画による避難行動要支援者支援の強化	市	福祉総務課、防災対策課 コミュニティ推進課	A	A	A		
	18 【重点】 まちづくりコーディネーターの配置とソーシャルデザインセンター設置の検討	市・コミュニティ	コミュニティ推進課	A	A	S		
	19 市職員の積極的な地域活動への参画	市	人事課、 コミュニティ推進課	A	A	A		
	20 ボランティア募集アプリの構築	市	デジタル推進課、 コミュニティ推進課	A	A	A		
	21 市報の新たな配布方式の定着	市	広報戦略課	A	A	A		
	22 ごみ等収集システムの見直し	市	資源循環推進課、 清掃センター	A	A	S		
	23 防犯灯の維持管理における協力体制の推進	市	交通防犯課	A	A	A		
	24 不法投棄防止策の推進	市	清掃センター	A	A	A		
	25 地域住民の移動手段の確保	コミュニティ	都市政策課	A	A	A		
	26 街区公園等の維持管理の推進	市	都市整備課	A	A	A		
	27 有償ボランティアの検討	市・コミュニティ	コミュニティ推進課	A	A	A		
	28 自主防災組織活動の活性化	市	防災対策課、 コミュニティ推進課	S	A	A		
全世代の居場所づくり	29 【重点】 フリースペースや学習室の設置	市	コミュニティ推進課	A	A	A		
	30 【重点】 ICTを活用した高齢者のつながりの創出	コミュニティ	高齢福祉課 コミュニティ推進課	S	S	A		
	31 【重点】 デジタル化の推進	市	デジタル推進課、 コミュニティ推進課	S	S	A		
	32 大学生との関係づくり支援	市	政策企画課 コミュニティ推進課	A	A	A		
	33 コミュニティへの若者参画促進	市	女性若者支援課	A	A	A		
	34 子育て世代の相談機会の充実	市	子育て支援課	A	A	A		
	35 交流センター施設予約方法の変更	市	コミュニティ推進課、 デジタル推進課	B	A	A		
合 計		S:計画より進んでいる		4	3	3		
		A:おおむね計画どおり		29	31	31		
		B:計画より遅れている		2	1	1		

行動計画推進事項 推進状況の評価(総括表)

推進状況				
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域のつながり調査	地域のつながりへの支援検	宅建協会への働きかけなど		
	各事業の推進			
	個別避難計画作成			
役割・配置等の整理		配置、情報交換など		
	コミュニティ活動体験研修など			
導入検討	導入準備	導入、運用		
	市報の全戸配布			
収集システム研究会設置	収集システム研究会開催	実証実験		
	LED防犯灯の移管			
	不法投棄監視員との連携			
地域モビリティ実証	地域モビリティ運営			
	公園里親等への支援			
	ポイント制の活用を検討			
	避難所開設運営訓練など			
現状調査	フリースペース開設	フリースペース運用		
	I C T教室の開催			
デジタル機器の整備	デジタル支援員による支援			
	学生プロジェクトへの支援			
	若者との意見交換など			
	親育ち・子育て広場事業			
新たなシステムや既存	システムの活用検討	既存システムでの運用		

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No. 1	【重点】コミュニティ持続のための新たな人材の発掘	コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆コミュニティ推進協議会内への検討委員会の設置 (委員会での検討事項) ・ 役員の期数制限や定年制等 ・ 会則への役員の期数制限や定年制について定めるためのガイドラインの作成 ・ 経験を次の世代に受け継ぐための、役員退任者による顧問会議の創設 ・ 人材を育成するための、段階的にスキルアップする人づくりスキーム(担当者→事務局長、副会長→会長など) ・ 自治会・町内会に限らず幅広い団体から役員を選出する方法 ・ 女性リーダー育成のため、役員への女性登用率の設定
	令和5年度 ～ 令和8年度	◆検討結果に基づく選考や規定の改正等 ・ 透明性を高めるため、役員の選考基準や選考過程、選考結果をホームページや広報紙で公開 ・ 総会等のZ o o mや動画配信による公開
令和6年度の 取組内容	1 コミュニティ推進協議会「新たな人材発掘会議」の提案を踏まえた取組 (1) 会長の任期の上限を「3期6年」と規定 … 9コミュニティ (令和5年度は5コミュニティ) (2) コミュニティ役員のうち女性の人数 … 会長2名(8.7%) 副会長17名(全87名、19.5%)、事務局長7名(30.4%) (3) 事務局長の負担軽減のため事務局次長や副事務局長を配置 … 7コミュニティ (4) 女性事務局長会議を開催し、人材発掘に関する取組等を共有(年4回) (5) 各ブロック会議による情報共有(2～3か月に1回) 2 インスタグラム等によるコミュニティ活動の情報発信	
評価 S:進んでいる A:おおむね計画どおり B:遅れている	A	評価の理由 取組事例などの情報共有を通し、会長の任期規定や女性リーダーの育成などをコミュニティ全体で推進した。
令和7年度の 取組内容	1 各コミュニティにおける会則の改正、選考基準等の公開の推進 2 活動の実務者である事務局長同士の情報交換会の開催 3 インスタグラム等によるコミュニティ活動の情報発信	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.2	【重点】子どもたちのコミュニティを学ぶ環境の整備	市
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆児童・生徒が取材し作成した記事の各コミュニティの広報紙やコミュニティ情報紙「こみこみ」等への掲載 ◆清掃活動のような身近な環境美化活動などを通じた地域の自然環境への愛着の醸成
	令和5年度 ～ 令和8年度	◆コミュニティマップを活用し、地域の自然や歴史を学ぶ教材として活用 ※ コミュニティマップの改訂（No.6）が令和4・7年度予定であるため、令和5・8年度の事業とする。 ◆コミュニティ活動ハンドブックやコミュニティ活動事例集などを活用し、小学生に分かりやすい内容に編集した「子ども版のコミュニティ活動ハンドブック」を作成し、コミュニティ教育の教材として活用 ※ コミュニティ活動ハンドブックの改訂（No.13）及びコミュニティ活動事例集の作成（No.14）が令和5年度予定であるため、令和6年度の事業とする。
令和6年度の 取組内容	1 子どもが参加した行事等の各コミュニティ広報紙への掲載（地域わんぱく隊、子ども会議、その他地域の方と交流した体験など） 2 コミュニティ情報紙「こみこみ」で小中学生がコミュニティ活動に参加した感想などを紹介 3 スポGOMI大会 in 日立での親子の参加（35チーム中5チーム） 4 学区独自のスポGOMI大会における親子の参加（大沼18名、大みか5名） 5 ひたち大好きパスポートデジタル版の運用	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 スポGOMI大会など、楽しみながら自分の地域をきれいにする活動が、子どもたちの地域の愛着の醸成の一助となった。
令和7年度の 取組内容	1 児童・生徒が作成した記事の各コミュニティ広報紙への掲載 2 コミュニティ行事への親子での参加呼びかけ 3 ひたち大好きパスポートデジタル版の機能を「まちのコイン」に組み込んで運用	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.3	【重点】コミュニティで取り組んでいる活動の再点検	コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆再点検のための活動調査項目の検討 ・回数、人数、所要時間、目的・必要性など ◆総会等資料、現地調査などによる活動状況の把握
	令和5年度	◆調査結果の整理、活動の見直し内容 ・全コミュニティ共通で行うべき活動、地域特性に応じて取り組む活動の分類 ・活動の見直しや効率化について、会長会議等において協議・決定
	令和6年度 ～ 令和8年度	◆見直しに基づく活動の実施 ◆活動マニュアルの作成 ◆地域の特性をいかした交流の創出 ・地域の特性（自然環境等）をいかし、コミュニティ相互間の交流を創出するなど、活動の幅を広げる取組への支援
令和6年度の 取組内容	1 コミュニティ推進協議会「活動の再点検推進会議」の提案を踏まえ、重要だと考える防災活動について話し合う「防災活動推進会議」を設置（令和5年度から継続） （1）メンバーは各コミュニティの防災担当部長や防災士など17名 （2）6月から12月まで4回開催 （3）地域の防災意識の向上と自主防災訓練の在り方をテーマに、現状や課題、改善策を全コミュニティへ提案 2 コミュニティ推進協議会主催「コミュニティのつどい」（2月27日）において、会議メンバーから選出された3コミュニティが今年度の活動を報告	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 自主防災活動について、課題や改善案の共有が図られた。
令和7年度の 取組内容	自主防災活動に関する課題や対応について話し合う体制を継続	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.4	【重点】コミュニティのよりどころの策定	コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆コミュニティ推進協議会内への検討委員会の設置 (委員会での検討事項) ・他市の策定状況 ・憲章の活用方法 ・コミュニティの定義、役割の明記 ・基本的なコンセプト、キーワード ・全てのコミュニティが同じ方向を目指す象徴・よりどころとなる内容、表現の工夫 ・策定したコミュニティ憲章の広報・啓発の方法 ◆会長会議での審議
	令和5年度 ～ 令和8年度	◆コミュニティ憲章の発表、広報・啓発
令和6年度の 取組内容	1 コミュニティ情報紙「こみこみ」臨時号（令和6年3月20日号市報折込）として全戸配布 2 コミュニティ推進協議会ホームページ、Instagram、FMひたちでの広報	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 コミュニティの理念や組織・活動内容を市民に周知することができた。
令和7年度の 取組内容	1 ホームページなどでの広報を継続 2 日立市コミュニティ推進協議会設立50周年記念誌への掲載	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.5	コミュニティプランの改訂 コミュニティ	
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆改訂への相談対応・支援、補助金の交付 ◆まちづくりコーディネーター（No.18）による支援 ◆各コミュニティによって実施年度は違うが手順は以下のとおり ・アンケート調査…地域課題、住民の要望事項 ・地域課題の把握…アンケートの裏付け調査、分析、解決案づくり ・将来のあるべき姿の創造（キャッチコピーの作成） ・プランの改訂、配布…住民説明 ・実践、実践結果の検証
令和6年度の 取組内容	1 改訂への相談対応・支援 （日高、滑川、宮田、塙山、大沼、大みか、久慈） 2 補助金の交付 （塙山、大沼、大みか、久慈） 太字は令和5年度からの継続実施 3 取組状況 ワーキングチームによる検討、ワークショップ開催（塙山） 住民アンケート実施（塙山、大みか、久慈）	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 アンケートやワークショップを通し、住民ニーズや地域課題の把握に努めた。
令和7年度の 取組内容	令和6年度取組の継続実施 1 改訂への相談対応・支援 2 補助金の交付	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.6	【重点】コミュニティマップの改訂	コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課 教育委員会 郷土博物館	
年度別 行動計画	令和4年度	◆改訂への相談・支援、補助金の交付 ◆改訂の進め方（手順） ・調査…地域の名所、景勝地、シンボル、公共施設 ・編集…地図や解説のまとめ ・印刷、製本
	令和5年度 ～ 令和8年度	◆マップの電子データの作成、ホームページで公開 ◆改訂したマップの活用 ・各コミュニティの地域資源案内板の更新 ・日立の魅力再発見ウォークのコースへの反映 ・子どもたちの教材として活用 ◆全23コミュニティマップのセット販売
令和6年度の 取組内容	1 掲載内容の精査（新たに掲載する名所や公共施設など） 2 日立市コミュニティ推進協議会設立50周年記念誌に、改訂したコミュニティマップを掲載することを検討（十王地区の新規作成を含む）	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	B	評価の理由 事業の見直しのため、改訂支援を遅らせることとした。
令和7年度の 取組内容	1 十王地区コミュニティマップの作成 2 それ以外の地域のマップについて、作成方法などの再検討	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No. 7	【重点】脱炭素社会に向けた全世代型コミュニティ環境活動の充実	
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	コミュニティ ◆清掃活動において、回収したごみの量や品目を一定のルールに基づいてポイント換算するなど、楽しみながら環境美化活動に参加するための工夫 ◆食材を使い切るレシピのコンテストなど、様々な世代が興味を持つイベント等の開催 ◆ごみの減量化や省エネルギーに関する講習会・研修会等の開催 ◆交流センターの太陽光発電設備を活用した再生可能エネルギーの啓発 ◆廃品を活用した作品の交流センターへの展示 ◆廃食用油回収、小型家電回収の継続 ◆地域の自然環境（川の上流と下流の地域、海に面している地域など）をいかしたコミュニティ間の交流の活発化 ◆ソーシャルデザインセンター（No.18）を介したコミュニティ間の取組事例の共有やイベントの共催
令和6年度の 取組内容	1 環境活動交付金の活用（各コミュニティ50万円） ごみ集積所ボックスの補助、環境に優しい製品の購入、研修会開催など 2 スポGOMI大会 in 日立（5/25） 出場 35 チームのうちコミュニティから 16 チーム参加 3 学区独自のスポGOMI大会の開催 大沼学区（9/16、56 人参加）、大みか学区（10/19、36 人参加） 4 くさゼロ・フォトコンテストの開催（10/8～10/22） 市役所に展示し、まちのコインを使って市民投票 5 各地域における清掃・草刈りなどの活動	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 全世代が一体となってまちをきれいにしようとする意識の醸成が図られた。
令和7年度の 取組内容	1 環境活動交付金の活用 2 ごみゼロの取組（スポGOMI大会の開催） 3 くさゼロの取組	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No. 8	【重点】コミュニティ活動アプリポイント制の導入		市
担当部課	市長公室 デジタル推進課 生活環境部 コミュニティ推進課 教育委員会 生涯学習課		
年度別 行動計画	令和4年度	◆ポイント付与の仕組みや還元率など、制度の具体的内容を検討 ◆ポイントの対象となる活動を選定 （例）ボランティア活動、ヘルスアップ活動、エコアクション、ラジオ体操活動など ◆特典の内容を検討 （例）施設優待券、オリジナルグッズ、市特産品、自治会・町内会活動に対する支援など ◆アプリの媒体について、「ひたち大好きパスポート」への追加、「ひたちナビ」への追加、独自アプリの開発など、最も効果的な方法を決定 ◆システム構築	
	令和5年度	◆ポイントの対象となる活動や特典を限定して試行	
	令和6年度 ～ 令和8年度	◆試行の状況を踏まえて本格実施 ◆特典内容の拡充	
令和6年度の 取組内容	1 コミュニティ活動ポイントアプリ「まちのコイン」運用開始（4/16） （1）ユーザーを増やす取組 市報やSNSでの広報、イベント出展、スタンプラリーの開催など （2）スポットを増やす取組 市の各課所、商工会議所、コミュニティと連携した営業活動 （3）体験を充実させる取組 コミュニティ推進協議会内に設置した「まちのコイン推進会議」によるコミュニティ間の連携・情報共有 2 「まちのコインタッチアワード 2024」の開催（3/6） 3 6/27にユーザー数5,000人達成（全導入地域で最速） 1/31現在ユーザー8,509人、スポット227箇所 （当初目標 5,000人、200箇所）		
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	S	評価の理由 ユーザー数、スポット数とも目標を上回ることができ、若者や子育て世代がコミュニティ活動を知るきっかけづくりに寄与した。	
令和7年度の 取組内容	1 各種団体・庁内各課所との連携によるユーザー及びスポットの拡大 2 まちのコイン推進会議の継続 3 「ひたち大好きパスポートデジタル版」機能をまちのコインに組み込んで運用		

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.9	コミュニティ活動参加者のスキルアップ等支援	コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課 市長公室 デジタル推進課 総務部 人事課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆スキルアップ等の支援が必要な活動の洗い出し ・役職等に応じた知識・経験の必要性や関連性（事務局長と民生委員、防災部長と防災士など）についてヒアリング（令和4年度上期） ・自治会・町内会からの相談事に対応するための、よくある質問等の洗い出し ・ホームページやSNSを始めとする各種媒体を活用した情報発信の相談対応、技術支援 ◆市の新規事業についての定期的な講習会の実施（防災、防犯、福祉など）
	令和5年度 ～ 令和8年度	◆洗い出しを行った活動についてのマニュアル（冊子、動画）作成 ◆マニュアルを活用した役職等に応じて必要となる知識や経験を得るための研修会等の実施 ◆外部講師による会計処理に関する研修会など、実務的な講座の実施 ◆市職員を講師とする出前講座（接遇・文書作成、各課所の新事業等に関する講座など）の実施
令和6年度の 取組内容	1 防災活動推進会議による自主防災活動の取組事例の共有（No.3） 2 経理担当者向け研修会の開催、会計事務に関する情報提供（No.10） 3 デジタル支援員の派遣（No.31） まちのコインアプリの操作、アンケートフォームの作成、ホームページの運用、Instagram開設・運用など 4 防災士養成講座の開催（8月） 5 市職員を講師とする出前講座の実施（20回） 日立市の気象、防災対策、公共交通、空き家対策など 6 ブロック会議によるコミュニティ間の情報交換、研修	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 コミュニティの専門部の活動それぞれに必要な知識を得ることができ、スキルアップにつながった。
令和7年度の 取組内容	1 防災活動推進会議の継続（No.3） 2 経理担当者向け研修会の開催（No.10） 3 デジタル支援員の派遣（No.31） 4 出前講座の活用	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.10	会計処理方法等の統一及び財政強化策の検討	コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和5年度	◆統一する調査項目の検討 ・会計基準、処理方法、各種様式など ◆会計処理の状況把握（現地調査、ヒアリング） ◆全学区（地区）統一の会計処理方法マニュアルの作成及び予算書・決算書等の様式の統一 ◆地域特性に応じて取り組むコミュニティ活動に対する財政強化手法の検討 ・寄付、クラウドファンディング、各種補助制度の利用など ◆選定した財政強化手法に適したコミュニティ活動の選定及び当該手法による財源獲得の具体的作業（申請方法、資金募集方法など）の実施
	令和6年度 ～ 令和8年度	◆マニュアルに基づく会計処理の実施 ◆財源の獲得とそれを原資とする活動の実施
令和6年度の 取組内容	1 コミュニティ推進協議会「財政強化推進会議」が作成した「会計処理ハンドブック」の活用 2 コミュニティの予算書等の統一の促進(20 コミュニティの予算書等様式がおおむね同じものとなった) 3 各コミュニティでの広報紙広告料、寄付金など、補助金以外の財源確保 4 「コミュニティ会計通信」を発行し会計処理に関する情報提供（No.9） 5 経理担当者向け研修会の開催（3月、No.9）	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 組織や活動の透明性を高めるため、ハンドブックを活用し、各コミュニティの会計処理や活動の見える化を促進した。
令和7年度の 取組内容	1 各コミュニティ・運営委員会における「会計処理ハンドブック」の活用 2 経理担当者向け研修会の開催 3 自主財源の確保に向けた、クラウドファンディングなどの手法の研究	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.11	地域とともにある学校づくりの推進（コミュニティスクールの推進）	
担当部課	教育委員会 指導課、生涯学習課、学校再編課	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	市 ◆学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進し、幅広い地域住民の参画により、地域ぐるみで子どもたちの育ちや学びを支える活動を実施 ◆学校と地域の円滑な橋渡し役を担う「コーディネーター（地域学校協働活動推進員）」の設置 ◆清掃活動など、身近な環境美化活動などを通じた地域の自然環境への愛着の醸成
令和6年度の 取組内容	- 学校運営協議会の全小・中・義務教育学校・特別支援学校への設置 - 学校運営協議会の開催（おおむね学期ごとに1回） →実施した成果や課題、改善策を市教委及び全校で共有 - 地域学校協働活動推進員の配置（6/1、39名） - 地域学校協働活動推進員連絡会の実施（6/20、8/20、9/30、2/13） - 地域学校協働活動関連研修会への参加（12/13） - 日立市立学校再編計画に基づく統合準備 - 統合準備委員会による協議 ①山部小・櫛形小 ②平沢中・駒王中 ③坂本中・久慈中	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 学校運営協議会設置3年目の取組を通し、学校と地域の連携・協働が図られた。
令和7年度の 取組内容	- 学校運営協議会の全小・中・義務教育学校・特別支援学校への設置 - 学校運営協議会の開催 - コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の配置（各校1名） - 地域学校協働活動推進員連絡会の実施 - 日立市立学校再編計画に基づく統合準備 （統合準備委員会による協議、住民説明会の開催）	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.12	NPO・ボランティア団体等との連携の強化	コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆コミュニティ活動に協力可能な団体の調査 <調査対象> ・各種団体、NPO法人、ボランティア団体（学校の部活動・サークル活動を含む。）、事業所 <調査内容> ・協力可能分野・人数・頻度 など
	令和5年度 ～ 令和8年度	◆調査結果に基づく活動協力の実施 ・専門的知識を活かした講習会、研修会の実施 ・環境美化活動や文化祭等の実施など、専門的知識を必要としない事業への協力 ◆活動協力継続への取組 ・継続的な情報交換の場の提供 ・コミュニティにおける各種団体としての登録・位置付けの明確化 ・年間行事予定等作成への参画 ・総会等への参加 ・コミュニティ役員等としての参画
令和6年度の 取組内容	1 ブロック会議等での取組事例の情報共有 学校、PTA、青年会、おやじの会、NPO、事業所との関わりなど 2 広報紙やSNSによるコミュニティ活動の広報	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 各種団体との連携事例やその効果をコミュニティ間で共有することができた。
令和7年度の 取組内容	1 各コミュニティでの事業に企画から参画するなど、連携の促進 2 NPO法人・ボランティア団体に対するコミュニティ活動の情報提供	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.13	コミュニティ活動等に関する広報の充実	コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課 市長公室 広聴広報課、デジタル推進課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆コミュニティ活動ハンドブックの改訂 (編集委員会を設置し、掲載内容を検討) ◆交流センターのパンフレットの作成 (役割や利用方法、フロアマップ等を掲載) ◆市及びコミュニティ推進協議会ホームページの掲載情報の拡充(計画中継続的に取り組む) ・自治会・町内会が利活用可能な補助制度等の情報 ・イベント参加者募集情報 ◆ひたちナビを活用した情報の発信 ・ポップアップ機能を活用したイベント等の周知
	令和5年度 ～ 令和8年度	◆コミュニティ活動ハンドブックの配布 ◆交流センターパンフレットの配布 ◆SNSなどの各種媒体を活用した情報発信の相談対応、技術支援
令和6年度の 取組内容	1 コミュニティ推進協議会及び各コミュニティのInstagram、ホームページ、FMひたちなどでの情報発信 (1) コミュニティ推進協議会「広報活動推進会議」が改訂した「コミュニティ活動ハンドブック」の内容を抜粋してお知らせ (2) 交流センターの利用案内 (3) 地域情報、イベント情報	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 各種媒体を活用して情報発信することができた。
令和7年度の 取組内容	1 コミュニティ活動ハンドブックを職員向けに編集し、デジタル版を配信 (No.19) 2 SNSなどの各種媒体を活用した情報発信	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.14	コミュニティ活動事例集の作成		コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課		
年度別 行動計画	令和4年度	◆コミュニティ推進協議会内への編集委員会の設置 ＜掲載内容の例＞ ～分野別コミュニティ活動及びそのメリットの紹介～ 環境美化活動、自主防災活動、見守り・声掛け活動 などの共通分野のほか、地域独自の再発見ウォーク、 お祭り、運動会、文化祭や発表会など ～実際に参加している人の生の声の紹介及びコミュニティ活動に参加している人の「ある一日」の紹介～ 事業の立ち上げに参画した人へのインタビュー イベントに参加した人の感想	
	令和5年度 ～ 令和8年度	SNS等で随時、事例の紹介 ◆活動事例集の製本・印刷— ◆周知及び配架 —転入者への配布 —新規団地開発事業者等との連携による当該団地等への 転居者への配布 —中学校、高等学校、大学の図書館への配架 —市有施設への配架や自治会・町内会等への配布、市ホ —ムページでの掲載など ◆コミュニティ活動事例集の改訂	
令和6年度の 取組内容	1 コミュニティ推進協議会「広報活動推進会議」の、各コミュニティの活 動をデジタル版として随時配信するほうが効果的であるとの意見を踏ま え、ホームページやSNSで活動事例紹介 2 コミュニティ推進協議会Instagram（週1回程度） 3 各コミュニティのInstagram（9単会）		
評 価 S：進んでいる A：おおむね計画 どおり B：遅れている	A	評価の理由 活動をタイムリーに配信した。	
令和7年度の 取組内容	1 No.13「コミュニティ活動等に関する広報の充実」と一体的に推進 2 SNSなどの各種媒体を活用した情報発信		

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.15		【重点】地域のつながり向上の取組		市・コミュニティ
担当部課		生活環境部 コミュニティ推進課		
年度別 行動計画	令和4年度	◆加入状況調査委託の実施（組織数、組織率、加入者数、加入率、区域図の作成など） ◆委託調査後の自治会・町内会等各組織に関する各種届出（新設・廃止、加入・脱退等）の把握方法の検討 ◆茨城県宅地建物取引業協会との協定締結 ・住居購入者等へのつながり促進リーフレットの配布 ◆転入セットを利用したリーフレットの転入者への配布		
	令和5年度	◆自治会・町内会等各組織に関する各種届出受付の実施 ◆調査結果に基づく負担軽減策の選定、貸出品目等の検討 ・庁舎、公用車、刈払機・草刈鎌などの貸出し ・ボランティアの活用による総会資料作成の支援 ・アプリポイントでの交流センターコピー機使用の無償化 ・各種募金等の集金方法（負担軽減策）の検討 など		
	令和6年度 ～ 令和8年度	◆茨城県宅地建物取引業協会との協定締結 ◆継続的な加入状況調査の実施（経年変化の把握・要因分析） ◆コミュニティ用つながり促進マニュアル作成 ◆市及びコミュニティ推進協議会ホームページを活用した情報提供内容の充実（自治会・町内会等各組織において活用できる補助制度の紹介など） ◆活動事例集の自治会・町内会等各組織への配布		
令和6年度の 取組内容		1 地域のつながりへの支援やつながりがない世帯への働きかけなどについて、ブロック会議等での意見交換 2 宅建協会との協定に向けた取組 （1） 県北支部への協力依頼 （2） 県内の協定済み自治体、市関係課へのヒアリング ⇒協定だけでは必ずしも加入率上昇につながらないことから、実効性のある連携体制や内容を再検討する必要 3 転入者への自治会・町内会リーフレットの配布（市民課・各支所） 4 地域集会所解体費用の補助による負担軽減（2件）		
評 価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている		A	評価の理由 地域のつながりへの支援等について、コミュニティ間の情報を共有することができた。	
令和7年度の 取組内容		1 ブロック会議等において地域のつながりへの支援策などを検討 2 転入者への自治会・町内会リーフレットの配布 3 地域集会所解体費用の補助による負担軽減 4 茨城県宅地建物取引業協会との連携体制や内容を検討		

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.16	【重点】コミュニティが行う地域福祉活動の推進		コミュニティ
担当部課	保健福祉部 福祉総務課		
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆要支援者を支える個別支援体制の強化 ・あんしん・安全ネットワーク事業（要支援者に対する見守り活動） ◆地域福祉活動を推進するための組織体制の強化・人材確保 ・生活支援体制整備事業（要支援者への生活支援サービスの提供と体制づくり） ・地域福祉推進事業（地域の福祉力の向上） ◆地域住民の絆による保健福祉事業の推進 ・ふれあい健康クラブ事業 ・ふれあいサロン事業 ・地域子ども食堂事業 ・おもちゃライブラリー運営事業 ◆安心して暮らせる仕組みづくり ・相談窓口の充実	
令和6年度の 取組内容	各事業の推進 ・あんしん・安全ネットワーク事業 ・くらしあんしん事業（実証事業） ・生活支援体制整備事業 ・地域福祉推進事業 ・ふれあい健康クラブ事業 ・ふれあいサロン事業 ・地域子ども食堂事業 ・おもちゃライブラリー運営事業 ・地域と連携した食品収集箱の設置 ・募金活動におけるコミュニティや取りまとめ者の負担軽減と利便性の向上		
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 各地区における事業を推進することができた。	
令和7年度の 取組内容	各事業の推進 ・あんしん・安全ネットワーク事業 ・くらしあんしん事業（実証事業） ・生活支援体制整備事業 ・地域福祉推進事業 ・ふれあい健康クラブ事業 ・ふれあいサロン事業 ・地域子ども食堂事業 ・おもちゃライブラリー運営事業 ・地域と連携した食品収集箱の設置 ・募金活動におけるコミュニティや取りまとめ者の負担軽減と利便性の向上		

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.17	【重点】個別避難計画による避難行動要支援者支援の強化		市
担当部課	保健福祉部 福祉総務課 総務部 防災対策課 生活環境部 コミュニティ推進課		
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和5年度	◆避難行動要支援者全員を安全に避難させるための個別避難計画の作成 ・福祉関係機関、各コミュニティへの協力依頼 ・要支援者及び家族等と協議し、災害発生時における避難支援実施者、避難経路等の決定 ・福祉避難所の公表及び開設	
	令和6年度 ～ 令和8年度	◆作成した個別避難計画によって要支援者を安全に避難できるか、避難訓練等を実施し、実行性を検証 ◆避難の際の声掛けや安否確認など、各コミュニティにおける自主防災組織を中心とした、地域における避難支援体制の構築 ◆避難行動要支援者全員を安全に避難させるための個別避難計画の見直し・更新	
令和6年度の 取組内容	1 名簿登録情報利用の同意を得られた自力避難困難者について、個別避難計画の作成 2 新たに要件を満たした方や、令和5年度に送付した確認通知に回答がなかった方について、郵送での勧奨や電話等による個別確認		
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 各コミュニティと連携し、個別避難計画の作成を進めることができた。	
令和7年度の 取組内容	1 名簿登録情報利用の同意を得られた自力避難困難者について、個別避難計画の作成 2 新たに要件を満たした方などについて、郵送での勧奨や電話等による個別確認		

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.18	【重点】 （仮称） まちづくりコーディネーターの配置とソーシャルデザインセンター設置の検討			市・コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課			
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和5年度	◆各コミュニティが支援等を必要とする活動内容調査 ◆コーディネーター（社会教育士等の有資格者）に求められる役割の整理 （例）調査・研究、情報収集・発信、相談対応、活動支援 交流ネットワークの構築、人材育成 など ◆身分、活動基準等の明確化 ◆社会教育主事、社会教育士等の資格取得支援 ◆ソーシャルデザインセンターの検討 ◆試行的な配置の人数、モデル地区等を決定		
	令和6年度	◆モデル地域において試行的に配置 ・地域課題の調整・解決 ・コミュニティプランの改訂（コミュニティによって実施 年度が異なる）の支援		
	令和7年度 ～ 令和8年度	◆全地域での実施 ◆特定地域における活動の全地域へのフィードバック		
令和6年度の 取組内容	1 まちづくりコーディネーターの配置（市職員2名） （1）各コミュニティを訪問し、情報交換・相談 （2）会長会議、視察研修等への出席 （3）防災活動推進会議、学校再編に係る打合せ （4）コミュニティ推進協議会設立50周年記念事業実行委員会の運営 2 体制や活動状況について、各コミュニティへアンケート実施			
評 価 S：進んでいる A：おおむね計画 どおり B：遅れている	S	評価の理由 全てのコミュニティを訪問し、コミュニティ間のパイプ 役、関係課所との調整役を担っている。		
令和7年度の 取組内容	1 活動の充実（地域の課題解決につながる情報提供、提案） 2 活動に対する検証			

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.19	市職員の積極的な地域活動への参画	市
担当部課	総務部 人事課 生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆新任職員・入所2年目職員を対象とした研修の実施 ◆監督職員(係長2年目)を対象とした研修の実施 ◆研修未実施階層職員への研修方法等の検討・実施 ◆改訂版コミュニティ活動ハンドブックを市職員向けの内容に編集して製本(ポケット版) ※ コミュニティ活動ハンドブックの改訂(No.13)が令和4年度予定であるため、令和5年度の事業とする。 ◆市職員向けコミュニティ活動ハンドブックの職員への配布及び説明会の実施 ◆新任職員への配布及び説明会の実施 ◆ボランティア意識の醸成によるクラブ活動の推奨
令和6年度の 取組内容	1 新任職員・入所2年目職員、係長2年目職員を対象とした「コミュニティ活動体験研修」の実施 (1) 事前研修(動画配信) (2) 各コミュニティでの体験研修 (3) 活動内容をコミュニティ情報紙「こみこみ」に掲載 2 イントラ掲示板でのコミュニティ行事の周知やごみゼロ・くさゼロの呼びかけ 3 スポGOMI大会 in 日立への職員チームの参加 4 コミュニティ広報紙の電子書庫への掲載 5 各課所の事業で「まちのコイン」を活用した取組の推進	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 研修やまちのコインを通し、職員のコミュニティ活動への意識の向上に取り組んだ。
令和7年度の 取組内容	1 コミュニティ活動体験研修の実施 2 改訂版コミュニティ活動ハンドブックを市職員向けの内容に編集してデジタル配信(No.13) 3 まちのコインを活用した職員へのコミュニティ活動参加の働きかけ	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.20	ボランティア募集アプリの構築	市
担当部課	市長公室 デジタル推進課 生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆アプリの機能等について検討 ・登録フォーマット（コミュニティ、ボランティア） ・ボランティア実施連絡の方法 ・ひたちナビの活用又は新たなボランティアマッチングシステムの導入 ◆コミュニティがボランティアを必要とする活動の把握
	令和5年度	◆アプリ構築
	令和6年度 ～ 令和8年度	◆地域住民へ対象範囲を拡大 ◆日立市社会福祉協議会との連携による、市内ボランティアマッチングの促進 ◆高校生等へのボランティア証明書発行
令和6年度の 取組内容	1 コミュニティ活動ポイントアプリ「まちのコイン」の運用（No.8） 2 コミュニティ推進協議会内に設置した「まちのコイン推進会議」において、全コミュニティ共通の体験、もらえるコイン数などの事例を共有 3 各コミュニティに加え、社会福祉協議会、NPO法人、子ども食堂などがスポットとして参画	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 まちのコインを活用し、市民がボランティア活動に参加しやすい環境づくりに取り組んだ。
令和7年度の 取組内容	No.8と一体的に推進 1 ボランティアに参加するとコインがもらえる体験の充実 2 まちのコイン推進会議の継続 3 ボランティア証明書の交付	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.21	市報の新たな配布方式の定着	市
担当部課	市長公室 広報戦略課	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆コミュニティがそれぞれの地域の実情等を踏まえ、3つの新たな配布方式の中から1つを選択して実施 ①単会ポスティング方式…コミュニティが配布推進員を新たに募集して配布する方式 ②町内会併用ポスティング方式…現行の町内会での配布をいかしながら、コミュニティが、現在、未配布となっている世帯に配布する配布推進員を新たに募集するなどして配布する方式 ③事業者ポスティング方式…市が、直接、事業者へ配布業務を委託する方式 ◆引き続き、コミュニティの負担軽減を図りながら市報の全戸配布を進めるとともに、これまで同時配布していたコミュニティからのお知らせ等も同様に全戸配布するための方法を検討
令和6年度の 取組内容	1 市報の全戸配布の実施 ①単会ポスティング方式（3単会） ②町内会併用ポスティング方式（7単会） ③事業者ポスティング方式（13単会） 2 コミュニティ推進協議会の「広報活動費補助」を活用した、各コミュニティによる広報紙等の全戸配布及びホームページ等による情報発信	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 各コミュニティと調整を行いながら、市報全戸配布を進めることができた。
令和7年度の 取組内容	1 市報全戸配布の継続実施（10月から月1回配布に変更） 2 コミュニティ推進協議会の「広報活動費補助」を活用した、各コミュニティによる広報紙等の配布及びホームページ等による情報発信	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.22	ごみ等収集システムの見直し	市
担当部課	生活環境部 資源循環推進課、清掃センター	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和6年度	◆日立市コミュニティ推進協議会代表者と市関係課所による合同検討会を設置（令和4年度上期） ◆問題点の洗い出しと改善方法等に関する意見交換、報告書まとめ ◆報告書を基本とした「ごみ等収集システム」の全体的な見直し
	令和7年度	◆限定した地域において試行・検証
	令和8年度	◆全コミュニティにおいて実施
令和6年度の 取組内容	1 ごみ等収集システム研究会の開催（8月、1月） 2 新たなごみ等収集システムの実証実験 （1）実施期間 10月2日から12月25日（約3か月間） （2）対象エリア 油縄子学区、金沢学区、大みか学区の約340世帯 （3）実験内容 ・再生資源…収集日の前日に分別袋等を設置し排出状況を確認 ・プラ分別収集…各世帯の排出量及び排出状況の把握（組成調査含む） 3 使用済みプラスチックの資源化に向けた調査 4 コミュニティへの情報提供（9月、1月）	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	S	評価の理由 実証実験を通し、今後の進め方を整理することができた。
令和7年度の 取組内容	1 ごみ等収集システム研究会の開催 2 再生資源の用具出し当番の廃止に向けた住民説明会等の実施 3 使用済みプラスチックの資源化に向けた調査の継続 4 コミュニティへの情報提供	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.23	防犯灯の維持管理における協力体制の推進	市
担当部課	総務部 交通防犯課	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆町内会等が所有するLED防犯灯の市への円滑な移管 ◆移管後の地域と市との協働による防犯灯の管理体制づくり ・町内会・自治会及びコミュニティは、LED防犯灯が故障した際の市への連絡、照明を遮る樹木の剪定、新規防犯灯設置要望の取りまとめを行う。
令和6年度の 取組内容	1 LED防犯灯の移管 (1) 移管申請の受付・審査(12団体、34灯) (2) 移管後の管理、電気料金支払い 2 防犯灯の新規設置 (1) コミュニティへ新規設置要望の取りまとめ依頼 (2) 提出された新規設置要望書類の審査(設置決定81灯) 3 不点灯など故障した器具の修繕工事	
評価 S:進んでいる A:おおむね計画どおり B:遅れている	A	評価の理由 各コミュニティとの協働による防犯灯の移管・新規設置を行うことができた。
令和7年度の 取組内容	1 LED防犯灯の移管 2 防犯灯の新規設置 3 不点灯など故障した器具の修繕工事	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.24	不法投棄防止策の推進	市
担当部課	生活環境部 清掃センター	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆地域環境美化を推進するための、不法投棄監視員制度の運用の継続 ・各コミュニティに不法投棄監視員(計120人)を設置し、ごみ集積所への不適正排出、山林や原野等へのごみの不法投棄の監視を行うことにより、不法投棄を未然に防止するとともに、早期に発見し、適切に対応することで生活環境の保全を図る。
令和6年度の 取組内容	1 不法投棄監視員との連携(118人) 監視員からの通報による不法投棄物処理件数 331件(1月末現在) 2 地域一斉清掃等への支援 3 市内全域パトロール	
評価 S:進んでいる A:おおむね計画どおり B:遅れている	A	評価の理由 不法投棄監視員との連携により、市内の環境美化を推進することができた。
令和7年度の 取組内容	1 不法投棄監視員との連携 2 地域一斉清掃等への支援 3 市内全域パトロール	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.25	地域住民の移動手段の確保		コミュニティ
担当部課	都市建設部 都市政策課		
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆公共交通パートナーシップ事業の推進 ・「地域住民」「交通事業者」「行政」が連携を図り、地域は利用促進、交通事業者は地域の要望に応じた運行、行政はコーディネート及び財政支援など各々の役割分担のもと、目標を設定し、協定を締結して公共交通の利用促進を図る。	
令和6年度の 取組内容	1 公共交通パートナーシップ事業 (1) 協定締結地区（諏訪学区、高鈴台団地、中丸団地、塙山学区、青葉台・堂平団地、山の神団地）への乗車促進活動支援 (2) 公共交通利用促進のPR 2 金沢学区地域モビリティ運営事業 (1) 地域モビリティ（軽自動車）の運行 (2) 利用者 延べ3,299人（12月末現在） 3 諏訪学区地域モビリティ運営事業 (1) 地域モビリティ（軽自動車）の運行 (2) 利用者 延べ2,003人（12月末現在）		
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 地域住民・交通事業者・行政の連携により、各事業を展開した。	
令和7年度の 取組内容	1 公共交通パートナーシップ事業 2 金沢学区地域モビリティ運営事業 3 諏訪学区地域モビリティ運営事業		

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.26	街区公園等の維持管理の推進	市
担当部課	都市建設部 都市整備課	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆市の公園を「里親」に、地域のボランティア団体を「里親」にたとえて、市と地域のコミュニティが力を合わせて、公園を楽しく、美しく守り育てる活動の推進 ◆地域住民で組織する団体で身近な公園や街路を快適に利用するための、草刈り・清掃を中心とした活動の推進 ◆刈払機の貸出しなどによる負担の軽減
令和6年度の 取組内容	1 公園里親、公園を守る会への支援 (1) 活動補助金の交付 公園里親 26 団体（新規 2 団体含む）、公園を守る会 108 団体 (2) 自走式草刈機の貸出し(12 月末現在 70 回)	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 里親等と協働し、街区公園等の環境を保つとともに、草刈り機の貸出し等により、活動者の負担軽減を図ることができた。
令和7年度の 取組内容	1 公園里親、公園を守る会への支援 (1) 活動補助金の交付 (2) 自走式草刈機の貸出し	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.27	有償ボランティアの検討		市・コミュニティ
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課		
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和5年度	◆有償ボランティアに関するコミュニティの意向調査 ◆先進事例や他の取組事例の調査・研究 ◆有償ボランティアで対応が可能な活動の洗い出し ◆有償化することのメリット・デメリットの整理 ・市民活動の理念、コミュニティ組織発足の経緯 ・有償化に対する、公益性、専門性、時間の拘束度合い、活動への貢献度など ・無償のままの、モチベーションの維持、活動参加者の不足など ◆各コミュニティとの意見交換、活動内容の選定 ◆有償ボランティアの財源確保策の検討 ◆有償化する活動の決定 ・有償とする活動内容の範囲や謝礼の金額の決定 ・有償とするボランティア活動基準の作成、公表	
	令和6年度 ～ 令和8年度	◆検討内容に基づく活動の実施 ◆ボランティア活動基準の見直し	
令和6年度の 取組内容	1 コミュニティ推進協議会「有償ボランティア検討会議」の提案内容を踏まえ、コミュニティ活動アプリポイント「まちのコイン」を活用 2 「まちのコイン推進会議」での検討 (1) 清掃、防犯パトロールなどの継続的な活動に関わる方や、お祭りなどのイベントを運営するスタッフに対し、コインを通常より多く（500タッチを目安）もらえる体験を作成（No.8、No.20） (2) モチベーションアップのためには、ポイントではなくお金といった意見も根強いが、もらえる人・もらえない人、金額などの基準づくりが難しい		
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 推進会議での検討を進めることができた。	
令和7年度の 取組内容	事務局や専門部スタッフに対する有償化について、他自治体のなどの事例研究		

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.28	自主防災組織活動の活性化	市
担当部課	総務部 防災対策課 生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆地域ごとに危険箇所が一目で把握できる総合ハザードマップの作成 ◆自主防災活動に必要な資機材の充実（計画中継続的に取り組む。） ◆交流センターにおける太陽光発電設備の更新・拡充
	令和5年度	◆災害時の初期対応体制や避難行動要支援者に対する避難支援体制を確立
	令和6年度 ～ 令和8年度	◆個人防災行動計画（マイタイムライン）の作成支援 ◆総合ハザードマップ及び個人防災行動計画を活用した防災訓練のプラン提供
令和6年度の 取組内容	1 自主防災組織への支援 (1) 自主防災訓練補助 (2) 避難所開設運営訓練（6月21日） (3) トランシーバーデジタル化支援 (4) 学区防災マップ等更新補助 (5) 防災士養成講座（8月31・9月1日） (6) ひたち防災士ネットワーク研修会（2月15日） 2 コミュニティ推進協議会 防災活動推進会議（6月～12月） 3 コミュニティ推進協議会「コミュニティのつどい」（2月27日）において、会議メンバーから選出された3コミュニティが今年度の活動を報告 4 交流センター太陽光発電設備の点検・修繕	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 防災士養成講座や各種訓練など、活動実践者のスキルアップにつながる取組を推進した。
令和7年度の 取組内容	1 自主防災組織への支援 (1) 自主防災訓練補助 (2) 避難所開設運営訓練 (3) 防災士養成講座、防災リーダー研修会 2 コミュニティ推進協議会 防災活動推進会議 3 交流センター太陽光発電設備の点検・修繕	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.29	【重点】フリースペースや学習室の設置	市
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆各交流センターにおける設置スペースの調査・検討 ◆すでに夏休みなどの長期休暇に学習室として開放している交流センターについては、改修工事等が終了するまで現在の取組を継続 ◆改修工事等が不要ですぐに設置が可能である交流センターについて、モデル事業として先行して設置
	令和5年度	◆改修工事等が必要な交流センターについて、改修計画を作成 ◆和室よりフローリングの部屋が好まれる傾向があるため、和室のフローリング化を併せて検討 ◆スマートフォンの無料充電設備設置の検討 ◆フリースペースへのマルチコピー機配備による、マイナンバーカードを利用した証明書等発行の検討 ◆アプリポイント利用可能なコピー機設置の検討 ◆改修に併せたコミュニティカフェの開設等、各コミュニティへの新たな事業展開の拡充を検討
	令和6年度 ～ 令和8年度	◆計画に基づく改修の実施 必要な備品・設備の整備 ◆フリースペースへのコミュニティの広報紙やイベント情報などの配架・掲示による、コミュニティ活動に関心を持ってもらうきっかけづくりの実施
令和6年度の 取組内容	1 フリースペースの全交流センターでの設置完了 (予約が入っていない部屋での運用を含む) 2 給茶機等の設置、地域の広報紙等での広報など、コミュニティ活動に関心を持ってもらうきっかけづくりの実施	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 全施設で設置が完了し、利用してもらうための取組がなされた。
令和7年度の 取組内容	立ち寄りやすい施設にするための取組（まちのコインの活用、広報等）	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.30	【重点】ICTを活用した高齢者のつながりの創出	コミュニティ
担当部課	保健福祉部 高齢福祉課 生活環境部 コミュニティ推進課	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆継続的に取り組む事業であるため、ニーズに合った事業となるよう見直しを図りながら継続する。 ◆タブレット教室に係る手順は以下のとおり。 ・講師であるNPO法人の担当者への依頼 ・講師と日程及び実施内容の調整 ・各交流センターと日程・会場調整 ・市報及び市ホームページにて65歳以上でタブレット端末に初めて触れる程度の高齢者を募集 ・タブレット端末の電源の入れ方や消し方等、基本的な操作方法及び検索方法、市ホームページの閲覧等の操作方法の習得 ・参加者の習熟度等に応じた教室の内容を検討し、参加者一人一人に寄り添った教室を推進 ・原則、代表の講師一人に対し、支援担当者二人体制の教室を開くことで、参加者全員が同一の内容を習得 ・教室終了後、参加者に簡易なアンケートを実施 ◆オンラインによる高齢者eスポーツ大会の開催
令和6年度の 取組内容	1 スマホ講座・タブレット講座の開催 (1) 6月から3月までに市役所、交流センターで32回開催 (2) 参加人数 延べ183人(1月末現在) 2 ICT相談コーナーの開設 (1) 月2回(年間24回)市役所、元気カフェで実施 (2) 相談人数 延べ219人(1月末現在) 3 各コミュニティの取組 (1) 豊浦学区 eスポーツ大会(5月、8月) かんたんスマホ教室(4月、5月) (2) 成沢学区 初心者タブレット講座(11月) (3) 河原子学区 デジタル勉強会(10月) (4) 大沼学区 初心者タブレット教室(11月) (5) 金沢学区 デジタル勉強会(5月から3月まで6回)	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 定期的なスマホ講座等の開催に加え、各コミュニティが独自の事業を展開している。
令和7年度の 取組内容	1 スマホ講座等の継続実施 2 各コミュニティでのデジタル勉強会等の開催	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.31	【重点】デジタル化の推進		市
担当部課	市長公室 デジタル推進課 生活環境部 コミュニティ推進課		
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆Wi-Fi環境を活用し、地域住民、他コミュニティ、市等とオンライン会議を実施できるようにするための、貸出用デジタル機器等を整備 ・タブレット端末、パソコン、マイク、スクリーンなど ◆Zoomの利用方法の講習会を開催するなど、デジタル環境の活用方法に関する学習会の実施 ◆地元の人材を学習会の講師とすることによる地域のつながりの創出（交流センター間でのデジタル機器の操作講習会の開催など） ◆コミュニティ活動に参加するためのきっかけ作りとして、デジタル環境整備の取組をコミュニティの広報紙に掲載 ◆コミュニティ総会等のZoomや動画配信による公開	
令和6年度の 取組内容	1 各コミュニティへのデジタル支援員の派遣（No.9） 住民アンケートやイベント申込みのオンライン化、まちのコインのアプリ操作、Instagram開設・運用支援など 2 Instagramの開設・運用 コミュニティ推進協議会及び各コミュニティ（9単会） 3 デジタル機器の使い方や活用例を説明する資料の定期配信 4 各コミュニティの取組 （1）豊浦学区 eスポーツ大会（5月、8月） かんたんスマホ教室（4月、5月） （2）成沢学区 初心者タブレット講座（11月） （3）河原子学区 デジタル勉強会（10月） （4）金沢学区 デジタル勉強会（5月から3月まで6回） （5）大沼学区 初心者タブレット教室（11月）		
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 デジタル化による活動の効率化や、SNSによる情報発信を推進することができた。	
令和7年度の 取組内容	令和6年度の取組の継続実施		

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.32	大学生との関係づくり支援		市
担当部課	市長公室 政策企画課 生活環境部 コミュニティ推進課		
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆学生プロジェクトに対して、市からコミュニティ活動の課題等に関する研究テーマを提案し、その解決に向けた学生の調査・研究活動をサポートする。 ◆手順は以下のとおり ・庁内から研究テーマの募集 ・応募のあった研究テーマの検討 ・学生に市から研究テーマを提案 ・設定したテーマの調査・研究（毎月1回程度、報告会を実施） ・成果報告書を作成 ・成果発表 ・実績報告書等の提出 ◆学生プロジェクトで報告されたコミュニティ活動に関する課題解決策を、学生とともに実践	
令和6年度の 取組内容	1 学生プロジェクトへの支援 ア テーマの提案 イ 報告会の実施（月1回） ウ 担当課へのインタビュー エ 成果発表会の実施（2月） 2 茨城大学でのまちのコイン講座（7月12日「茨城学」） 3 大学生インターンシップ生のコミュニティ会議への参加（8月） 4 コミュニティ政策に係るゼミ研究への支援（10～11月）		
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 コミュニティ活動に関するテーマに対し、サポートすることができた。	
令和7年度の 取組内容	1 学生プロジェクトへの支援 2 まちのコインを活用し、コミュニティ活動への参加呼び掛け		

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.33	コミュニティへの若者参画促進	市
担当部課	生活環境部 女性若者支援課	
年度別 行動計画	令和4年度	◆コミュニティの歴史や仕組みの把握 ◆コミュニティ活動との連携方法の整理
	令和5年度	◆コミュニティ活動への理解を深めるための、コミュニティ活動の目的や内容を学ぶ講座やフィールドワーク、まち歩き等の実施 ◆コミュニティと若者かがやき会議が連携した事業の実施
	令和6年度	◆若者人材バンクを活用した、コミュニティ活動に参画する若者人材の発掘・把握 ◆まちづくりや地域課題解決等に若者の視点を反映させるための仕組みづくり
	令和7年度 ～ 令和8年度	◆若者の視点を反映させた地域課題等の解決
令和6年度の 取組内容	1 スポGOMI大会 in 日立への20代以下の方の参加 (35チーム中12チーム) 2 インターンシップ大学生のコミュニティ会議への参加 3 多世代がつながるイベント等の開催 (1) スポGOMI 甲子園(11/10) (2) ひたちでなつ旅～みんなで海活しない?～ (8月/申込過少により中止) (3) まちの音 HITACHI ライブ(11月/荒天中止) (4) 若者会議全体会～日立で防災を考える1日 防災体験・見学ツアー (11月)	
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 コミュニティ活動に対する若者の意見を聞き、今後の取組への参考とすることができた。
令和7年度の 取組内容	1 多世代がつながるイベント等の開催 2 若者の意見を聞く機会の拡大(まちのコイン、デジタル化など)	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.34	子育て世代の相談機会の充実	市
担当部課	保健福祉部 子育て支援課	
年度別 行動計画	令和4年度 ～ 令和8年度	◆子どもセンターで実施している親育ち・子育て広場事業を継続し、子育てに関する講演会や親同士が交流できる機会を創出 ◆交流センターを開催場所とした事業や「おもちゃライブラリー」(日立市社会福祉協議会事業)の機会を活用した、子どもセンターの子育て支援サポーター等による相談の実施
令和6年度の 取組内容	1 親育ち・子育て広場事業(177回開催) 2 おもちゃライブラリー訪問相談 (1月末現在 訪問25件、参加親子145組) 3 各コミュニティとの連絡・調整	
評価 S:進んでいる A:おおむね計画どおり B:遅れている	A	評価の理由 身近な場所で気軽に相談できる機会を設けることで、交流センターに足を運ぶきっかけとなった。
令和7年度の 取組内容	1 親育ち・子育て広場事業 2 おもちゃライブラリー訪問相談 3 各コミュニティとの連絡・調整	

行動計画推進事項 推進状況の評価シート【令和6年度】

推進事項 No.35	交流センター施設予約方法の変更		市
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課 市長公室 デジタル推進課		
年度別 行動計画	令和4年度	◆茨城県の「公共施設予約システム」の利用や新たな市独自システムの構築など基幹システムの検討 ◆インターネット環境を利用したシステム機能の検討（例）入力操作方法、予約状況の公開機能 ◆システム未利用者への代替入力等の対応 ◆システム設計、構築	
	令和5年度	◆施設を限定しての試行 ◆予約システムの導入に合わせた、より市民が利用しやすい交流センターの「利用のきまり」の点検	
	令和6年度 ～ 令和8年度	◆予約システムの使用方法の検証、修正 ◆全施設での実施 ◆システム稼働に合わせた新たな施設の利用方法の導入	
令和6年度の 取組内容	茨城県「いばらき公共施設予約システム」の利用 ※現システムは令和8年8月に終了し、9月から新システムに移行 (1) 現システムを利用し、12施設で空き状況の閲覧を開始 (2) 新システム検討ワーキンググループへの参加（12月、1月）		
評価 S：進んでいる A：おおむね計画どおり B：遅れている	A	評価の理由 県システムの利用を開始することができた。	
令和7年度の 取組内容	1 新システムの情報収集 2 交流センターへの操作支援 3 新システムに合わせた「利用のきまり」の整備		